

秋の叙勲・褒章

顕著な功績を挙げた人や長年にわたり職務に精励された人に贈られる、秋の叙勲・褒章が発表されました。市内からは、11月2日に発表された褒章に2人、3日に発表された叙勲に6人がその荣誉に輝きました。受章者の皆さん、おめでとうございます。

瑞宝中綬章 (教育研究功労)



池田 俊夫さん(75)
水沢区天文台通り

「研究実験で新しい現象を見だし、心を躍らせたことが忘れられない」と池田さん。東北大学や岩手大学などで46年間、電子物性工学の研究に力を注ぎました。後進の指導も熱心で、各方面で活躍する人材を世に送り出しました。

瑞宝小綬章 (教育功労)



千葉 宣夫さん(79)
前沢区字七日町

36年あまりの教員生活では「継続は力なり」「決してあきらめない」をモットーに、自らも生徒と向き合い常に切磋琢磨を続けました。受章について「どこかで誰かが見ているんだなあ」と懐かしそうに当時を振り返っていました。

瑞宝双光章 (郵政事業功労)



佐藤 章さん(74)
水沢区真城字北上野

昭和27年から平成6年まで、郵便局員として勤務。普段から「お客様の信用を裏切らないように」と心掛けてきました。緊急の電報を受取人に届けるために山中を探し回ったことなど、常に利用者第一で職責を全うしました。

緑綬褒章 (社会奉仕活動功績)



佐々木 光子さん(85)
江刺区愛宕字東下川原

教員を退職後、多くの人に支えられた恩を少しでも社会に還元したいという気持ちから、数多くの福祉活動に従事してきました。ボランティア活動を「心の豊かさを高めるもの」として、今でも楽しみながら続ける毎日です。

旭日双光章 (金融業功労)



新田 清二さん(73)
水沢区大鐘町

昭和33年に水沢信用金庫に入所。地域に密着した金融機関として、地元経済の発展と市民生活の安定に努めてきました。専務理事や理事長として、ダイエー跡地に支店をオープンさせるなど、まちの活性化にも貢献しました。

瑞宝双光章 (教育功労)



佐々木 恒さん(78)
水沢区真城字片子沢

40年にわたり教育に携わった佐々木さん。「子どもたちにいいものを見せたい」と特に視聴覚教育に力を注いできました。テレビがまだ珍しい時代から、テレビや放送施設などの導入を進め、教育環境の充実に尽力しました。

瑞宝単光章 (消防功労)



菊池 榮幸さん(76)
江刺区稲瀬字神田

昭和42年に子ども2人が焼死する痛ましい火災を目の当たりにして以来、火災現場では常に人命の確認を最優先に活動しました。後年は分団長、副団長として「消防人とはどうあるべきか」を説き、幹部教育にも力を注ぎました。

藍綬褒章 (自然保護功績)



菅原 壮さん(64)
水沢区川端

初めて登った焼石連峰で山の魅力の虜となった菅原さん。昭和47年から自然公園指導員として、焼石連峰に登る登山客の安全指導と高山植物などの自然保護に努めてきました。現在も週に一度は山に出掛け、活躍しています。

市の出来事から

フロンティアパークに企業立地

江刺フロンティアパークに進出を決めた有限会社エル・ファクトリー（本社水沢区、平沢吉広社長）と市との立地調印式は10月24日、市役所本庁舎で行われました。

調印式には、同社の平沢社長と伊藤美喜子取締役のほか、県市関係者ら9人が出席。席上、平沢社長と相原正明市長が協定書に署名、押印して交換後、固い握手を交わしました。自動



手を取り合う平沢社長(左から3人目)ら

車ボディー製造ラインの設計・製造を中心に業績を伸ばし、商社を通じて国内大手自動車メーカー多数と取引を行っています。平沢社長は「取引先との距離、県や市の補助制度が進出の決め手となった。2年後をめどにさらに増設も検討したい」と抱負を話していました。来年1月の操業開始を予定し、新たに6人の採用を計画しています。フロンティアパークへの立地は、これで5社目になります。



木村 聡選手(45)
水沢区神明町

のじぎく国体で 本市2選手優勝

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」は、9月30日から10月10日までの会期で開かれました。この大会に出場した岩手県選手団のうち、本市の2選手が全国1位を成し遂げました。ボウリング競技、成年男子年齢別個人戦ハイミドル部門で木村聡選手がトータル1925点で優勝。この競技で県勢が優勝したのは初めての快挙です。ウェイトリフティング競技、少年56キ級の三嶋平選手は、スナッチで94キの県新記録で優勝。トータルでも第2位に輝きました。



三嶋 平選手(17)
岩谷堂農林高校3年

長年の努力が花開く

法務大臣表彰



平野 壮一さん(73)
江刺区男石

平成7年に人権擁護委員。18年から水沢人権擁護委員協議会長に就任し活躍中

総務大臣表彰



高橋 一好さん(77)
胆沢区南都田字本木

平成元年に行政相談委員。市民からの行政に関する苦情、要望などの解決に尽力

厚生労働大臣表彰

おはなしキャラバンすくすく(及川典子代表)

昭和55年設立。幼稚園や保育所で手作り紙芝居や絵本の読み聞かせ、人形劇上演などを続ける。会員20人



岩井助役から記念品を受け取る小野寺さん

前沢の小野寺さんが満100歳

前沢区字塔ヶ崎の小野寺孝子さんの満100歳を祝う会は10月17日、入所中の特別養護老人ホームまえさわ苑で開かれました。市からは岩井憲男助役が出席し、記念品として岩谷堂筆筒のミニ筆筒を贈りました。小野寺さんは明治39年生まれで、仙台市出身。結婚後夫の捨治さんの仕事の関係で中国に渡り、昭和23年に帰国して以降は、夫の出身地である前沢に居住しました。帰国後早くに捨治さん

を亡くし、小学校の養護教諭を務めながら3男1女を育て上げました。現在は、30年以上という趣味の俳句を続けながら穏やかにお過ごしです。ハーモニカも得意で1カ月前にも施設で披露したばかりとか。この日は長女の梅内節子さん(62)も祝福に掛け付け、長寿の秘けつについて「1日を大事に過ごすことの積み重ねが良かったのでは」と答えていました。